

# 28 文法解説 助詞 (文法の総一)

助詞とは、活用のない付属語で、体言・用言・助動詞・他の助詞の後などに付く単語。

格助詞：主として名詞(体言)の後に付いて、後に続く言葉との関係を示す助詞。「が、の、を、に、と、へ、から、より、で、や」の十個。

が	主語	例	鳥が鳴く。	の	所有	例	私の部屋。
を	対象	例	手紙を書く。	に	目的	例	釣りに行く。
と	相手	例	母と話す。	へ	方向	例	京都へ向かう。
から	起点	例	アールから出る。	より	比較	例	来くより早い。
で	場所	例	公園で遊ぶ。	や	列挙	例	鉛筆やペン。

接続助詞：活用する語(用言・助動詞)の後に付いて、前後をいろいろな関係で接続する助詞。「て(て)、と、ば、ものなら、から、ので、が、けれども(けれど)、のに、でも(でも)、もの、し、たり(たり)、ながら、つつ、なり」などがある。

て	並立	例	面白くて優しい先生。
と	条件	例	風が吹くと巨がきしむ。
ば	仮定の条件	例	雪が解ければ氷になる。
から	理由	例	暑いから窓を開けます。
けれども	逆接	例	運動しけれども間に合った。
ので	理由	例	夜ふかしをしたので眠い。
が	逆接	例	うまくはないが、味のある総た。
でも	仮定の逆接	例	失敗しても諦めない。
ながら	同時	例	テレビを見ながら宿題をする。

副助詞：いろいろな名語の後に付いて、その語にさまざまな意味を添える助詞。「は、も、こそ、さえ、すら、でも、だって、まで、だけ、ばかり、のみ、しか、きり、ほど、くらい(ぐらい)、など、とか、やら、なり、ずつ、か」などがある。

は	題目	例	宮城は東北地方に属する。
も	同類	例	うどんそばも好きだ。
こそ	取り立て	例	彼こそキャプテンにふさわしい。
さえ	他を類推	例	大学生さえ解けない問題。
まで	強調	例	妹にまで指摘される。
だけ	限定	例	二つのうち一つだけ、あげます。
くらい	程度	例	泣きそうなくらいうれしかった出来事。

終助詞：文末に付いて、話し手・書き手の気持ちを表す助詞。「か、かい、かしら、の、な(なあ)、こと、ね(ねえ)、よ、さ、ぜ、ぞ、や、わ、とも、な、ものか」などがある。

か	勧誘	例	もうそろそろ帰ろうか。
の	質問	例	いつ旅行に行くの。
なあ	感動	例	今日はとても暑いなあ。
ぞ	強調	例	とても白熱した試合だったぞ。
な	禁止	例	そんなところに座るな。

※同じ助詞でも使われ方によって、さまざまな関係を示す。  
 例 弟とけんかする。(相手) 赤と青のペンを使う。(列挙)  
 「はい。」と答える。(引用) 最終回となる。(結果)  
 ※異なる助詞で同じ形のものがあるのて、「助詞の識別」が問われる。  
 例 「から」 { 先生から注意される。(「起点」を示す格助詞)  
 { 運動したから注意される。(「理由」を示す接続助詞)

## 文法の確認問題

### 格助詞の働き

1 格助詞の働き 次の一線の格助詞の働きを後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 見たい番組が八時から始まる。
- ② 進路について父と話し合う。
- ③ デパートに買い物に行く。
- ④ 新しいスニーカーを買う。
- ⑤ 最終バスが出てしまった。
- ⑥ 兄より僕のほうが、速く走れる。

①  ②  ③   
 ④  ⑤  ⑥

ア 目的 イ 主語 ウ 起点 エ 比較 オ 相手 カ 対象

2 接続助詞の識別・働き 次の各文から接続助詞を選び出して、に書きなさい。またそれぞれの働きを後から一つずつ選び、に記号で答えなさい。

- ① 彼がいなければ、失敗しただろう。
- ② 細い物をしながら、音楽を聴く。
- ③ 甘くて冷たいすいかを食べる。
- ④ 時間がないので、諦めた。
- ⑤ この商品は高価だが、役に立たない。

ア 並立 イ 逆接 ウ 同時 エ 理由 オ 仮定の条件

3 副助詞の識別 次の文中の一線の語の中から副助詞を二つ選び、記号で答えなさい。

ア「誰が反対しても、受験勉強中も、ピアノの練習だけは続けるよ。」

4 副助詞の働き 次の各文から、副助詞を選び出してに書きなさい。またそれぞれの副助詞の働きを後から一つずつ選び、に記号で答えなさい。

- ① 肉だけでなく、野菜を食べなさい。
- ② 朝から一時間くらい、勉強した。
- ③ 『竹取物語』は有名な古典作品だ。
- ④ 先生にさえ解けない問題だ。

ア 題目 イ 他を類推 ウ 程度 エ 限定

5 終助詞の働き 次の一線の終助詞の働きを後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① あら、いつ来たの!
- ② 「一緒に食べようか。」
- ③ そんなに慌てるなよ。
- ④ ああ、きれいななあ。

①  ②  ③  ④

ア 禁止 イ 感動 ウ 確認 エ 質問